学校番号	４１１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	山川出版社　詳説日本史Ｂ						
副教材等	帝国書院　図説日本史通覧　　東京法令出版　新編史料日本史						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「過去」を調べ、「現代」と比べ、「将来」を考える学問と捉える。
・因果関係によって歴史的事象はつながっており、歴史を流れの中で捉える。
・考古資料・文献資料・絵画資料等様々な史料から過去を読み解く。
・世界の諸地域の歴史(日本との交流)や地理的条件を考慮に入れ、日本の歴史の特質を考える。

２ 学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世中期から現代に至る歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、歴史的な思考力を育み、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養おうとする。	近世中期から現代に至る歴史の展開を、政治・経済・社会・国際環境などの諸要素から総合的に考察・判断し、我が国の伝統・文化の形成過程や特質を適切に表現している。	各時代の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近世中期から現代に至る歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	小テスト	定期考査	定期考査	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅲ部 近世 第7章～第8章	**第７章 幕藩体制の展開**					a:江戸幕藩体制の安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:江戸幕藩体制の安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:江戸幕藩体制の安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 小テスト
		幕政の安定	○	○	○	○		
		経済の発展		○	○	○		
		元禄文化		○	○	○		
		第８章 幕藩体制の動揺						
		幕政の改革		○		○		
		宝暦・天明期の文化		○		○		
		幕府の衰退と近代への道	○	○	○			
		化政文化	○	○		○		
	第Ⅳ部 近代・現代 第9章	**第９章 近代国家の成立**					a:開国から倒幕、明治維新期の諸改革、自由民権運動から立憲国家の確立、日清・日露戦争と産業革命、明治期の文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:幕末から明治への近代化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:幕末から明治への近代化の過程・特質を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 小テスト
		開国と幕末の動乱		○	○	○		
		明治維新と富国強兵	○	○	○	○		
		立憲国家の成立と日清戦争	○	○		○		
		日露戦争と国際関係		○	○	○		
		近代産業の発展	○	○		○		
		近代文化の発達	○		○	○		

2学期	第Ⅴ部 近代・現代 第10章～第13章	**第10章 二つの世界大戦とアジア** 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 **第11章 占領下の日本** 占領と改革 冷戦の開始と講和 **第12章 高度成長の時代** 55年体制 経済復興から高度成長へ **第13章 激動する世界と日本** 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の動揺	 ○ ○ ○